

地域づくり加速化事業の支援を受けて



水戸市マスコットキャラクター みとちゃん

令和5年度地域づくり加速化事業ブロック別研修会
令和6年1月23日（火）

茨城県水戸市福祉部高齢福祉課
地域支援センター

水戸市の概要

(令和5年4月1日現在)

人口 269,196人

高齢者人口 72,948人 (高齢化率 27.1%)

後期高齢者人口 39,537人 (14.7%)

日常生活圏域 8圏域



みとちゃん

水戸市は、首都・東京から北東へ約100キロメートル、茨城県庁の所在地です。

明治22(1889)年4月に、日本で最初に市制を施行した全国31市の一つです。平成31

(2019)年には市制施行130周年を迎えました。また、平成13(2001)年に特例市に移行し、令和2(2020)年4月1日から中核市となりました。徳川御三家の一つ、水戸徳川家の城下町として栄えた歴史を持つまちです。

水戸市の地域支援事業

地域支援事業

介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）

介護予防・生活支援サービス事業

訪問型サービス

通所型サービス

介護予防ケアマネジメント

一般介護予防事業

介護予防普及啓発事業

地域介護予防活動支援事業

地域リハビリテーション活動支援事業

包括的支援事業（①以外は消費増税分を財源とした「社会保障充実分」）

①地域包括支援センターの運営

【基幹型＋支所8か所（うち7か所委託）】

- 高齢者の総合相談窓口。権利擁護の取組みやケアマネの支援など

②在宅医療・介護連携推進事業（一部市医師会に委託）

- 地域住民への普及啓発【H28～】
- 在宅医療・介護連携に関する相談支援、医療・介護関係者の研修など【H30～市医師会に委託】

③生活支援体制整備事業【多様な担い手による新たなサービスの充実】

- 第1層（市全域担当：住民主体による生活支援の担い手養成）【H29～】
- 第2層（日常生活圏域担当）【H30～水戸市社会福祉協議会に委託】

④認知症総合支援事業

- 認知症初期集中支援推進事業【H29年度～】
⇒医療・福祉の専門職及び医師をチームとした初期集中支援の実施
- 認知症地域支援・ケア向上事業【H28年度～】
⇒認知症の人と家族の支援を目的に認知症カフェ等を実施

⑤地域ケア会議推進事業【H27～】

- 支援困難ケース等の検討を通じた地域課題の把握等

任意事業

介護給付等費用適正化事業

家族介護支援事業

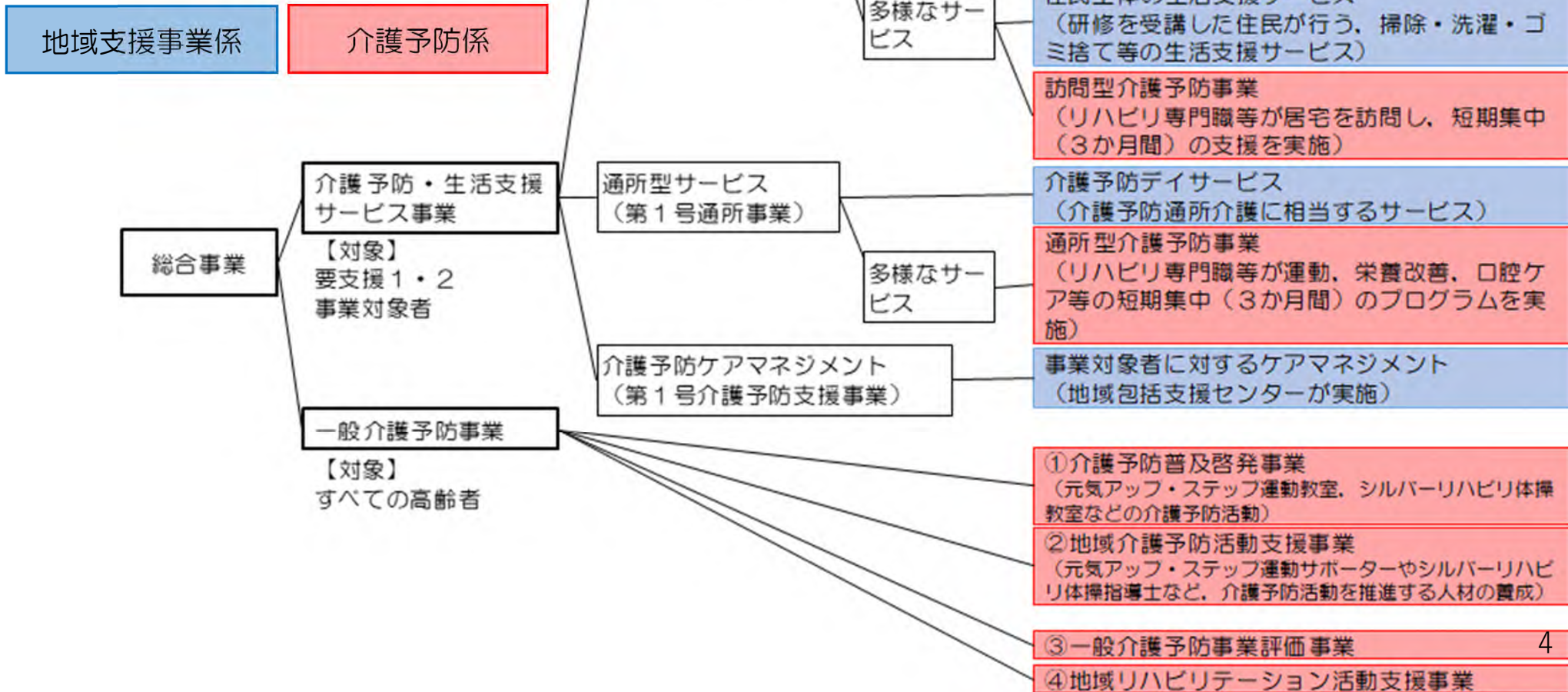
- 認知症高齢者等家族支援位置探索サービス
- 家族介護慰労金
- 家族介護用品支給事業

その他の事業

- 成年後見制度利用支援事業
- 認知症サポーター等養成事業
- 介護相談員派遣事業
- 配食サービス
- 在宅見守り安心システム

水戸市の総合事業

(体系と担当)



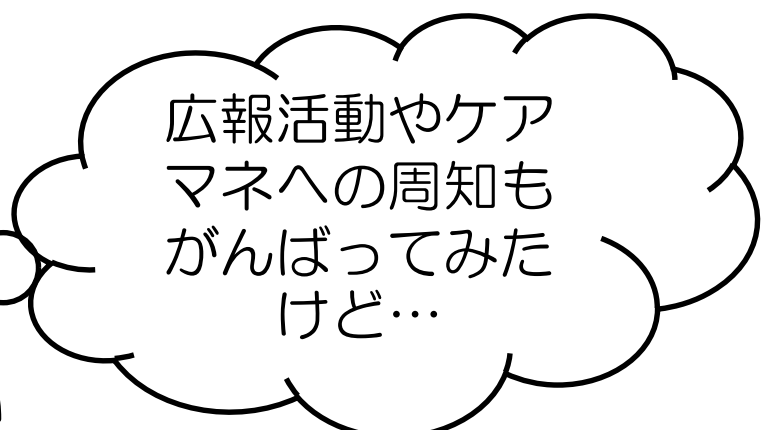
本日の予定

1. エントリーした経緯
2. 0.5mtg
3. 1回目支援
4. 2回目支援
5. 3回目支援
6. 感想




エントリーした経緯

- 短期集中サービスでの悩み
利用者が少ない・集まらない
対象者のミスマッチ…予防サービスがゴール？
- 住民主体の通いの場での悩み
新規の参加者が増えない
会場までの交通手段の問題



広報活動やケア
マネへの周知も
がんばってみた
けど…



もやもや

そんな時に関東信越厚生局から
「アドバイザーがあなたの
のまちに出向きます！」
「こんな悩み、ありませんか？」

あります！

支援チームが寄り添ってくれたら、
もやもやがスッキリするのもかも…






無料 市区町村で地域支援事業を担当する皆様へ！

地域づくり加速化事業 — 令和5年度厚生労働省委託事業 —

厚生局
主導型

アドバイザーがあなたのまちに出向きます！
次の5テーマについて、エントリーを募集します。

こんな悩み、ありませんか？

- | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
|  介護予防
ケアマネジメント | <input type="checkbox"/> 自立支援・重度化防止の考えを定着させたい |
| | <input type="checkbox"/> 継続的なサービス利用が多い |
|  短期集中
予防サービス | <input type="checkbox"/> 利用者が確保できない |
| | <input type="checkbox"/> 卒業後のつなぎ先が見つからない |
|  通いの場 | <input type="checkbox"/> メニューがマンネリ化している |
| | <input type="checkbox"/> 新たに人が入りづらい |
|  生活支援体制
整備事業 | <input type="checkbox"/> 協議体が形骸化している |
| | <input type="checkbox"/> 生活支援コーディネーターとの連携がよくない |
|  地域ケア会議 | <input type="checkbox"/> 開催する目的を共有したい |
| | <input type="checkbox"/> 個別会議から地域課題へ展開したい |

その悩み、一緒に考えましょう！

介護予防・日常生活支援総合事業が8年目を迎えました。
それぞれの地域で連携・協働による多様な取組が進んでいる一方、財政面での悩みや
地域住民への説明の仕方、庁内外の連携などのお困りごとを抱える担当者も少なく
ありません。
この事業では、そんな市区町村の皆様にはアドバイザーが寄り添いサポートします。

このチャンスに
ぜひエントリーも
ご検討ください

- ・ 関東信越厚生局管内の3市区町村にアドバイザーを派遣します
- ・ アドバイザー派遣に関する費用負担はありません
- ・ エントリー方法は別添事務連絡をご覧ください

エントリー期限：令和5年4月21日（金）

問い合わせ先

関東信越厚生局 健康福祉部 地域包括ケア推進課
TEL 048-740-0793
Eメール ktkousei164@mhlw.go.jp
担当 柏山 岡本

厚生労働省

関東信越厚生局

0.5mtg

水戸市から説明

- 支援してほしい内容
- 水戸市の現状, 課題
- 取り組みたいこと
- 担当者として重要と思う考え方や行動
- アドバイザー等へ望むこと

ひとつとおり説明はしたものの…

目指す姿を明確にできていなかったことに気付く！！

→どこを目指しているのかぼんやりしていた

1回目支援までに

- 目指す姿を明確にする
- 目標に向けての課題を整理する
- 優先順位を付ける
- できることは早速始めてみる

★モヤモヤではなく、ぼんやりしていた？
★モヤモヤは本当の課題なの？
★どこが一番大事なの？
★担当課内での話し合いもできていなかったよね～
★同行アセスメントはやってみたかったし、できそう！

1回目支援 午前

- 加速化事業について（説明：関東信越厚生局）
- 現状，課題，目指す姿（説明：水戸市）
- 自立支援と介護予防・日常生活支援総合事業（講話：AD）
- mtg以降の取組み 同行アセスメント（報告：水戸市）
- 総合事業の全体像の認識の共有，意見交換

【参加メンバー】 下線はコアメンバー

福祉部長，高齢福祉課長，地域支援センター所長
事業担当者，居宅介護予防支援事業所（直営）
高齢者支援センター（包括支援センター）

1回目支援 午前



1回目支援 午前の気付き

- 総合事業以前の介護予防事業を引きずっていた
- 総合事業の本質の部分「自立支援」の意識が薄かった
- サービスCの課題の要因を申請までさかのぼって考えるという視点がなかった

★なんの疑問も持たずにやっていたけど、水戸市のサービスCは「時代遅れ」だったのか…！
★確かに、「自立支援」には繋がっていなかった…
★ミスマッチは申請時に起こっていたのか！
★これってこのままじゃダメだよねえ

1回目支援 午後

- 通いの場の類型と定義（説明：高齢福祉課）
- 通いの場の情報共有（参加各課）
- 各事業の紹介（参加各課）
- 意見交換（AD支援）

【参加メンバー】 コアメンバー
市民生活課，生涯学習課，（福祉総務課），
（スポーツ課）， 社会福祉協議会

1回目支援 午後



1回目支援 午後の気付き

- 通いの場だけでなく社会参加が介護予防につながる
- 何らかの活動をしている高齢者は元気である
- 「通いの場」だけが社会参加ではない

★介護予防部門が把握している事業が全てではない！
★でも、どこまで情報を収集すればいいんだろう
★協力してもらうには、もっと丁寧に説明しないと。そのためには、まず自分の中できちんと整理しないと。上手くできるかなあ…

1回目支援 支援後の取組み

気付きをもとに

- 係を超えた話し合いの場
- 担当事業を担当者レベルで進捗チェック（雑談？）

それぞれの担当業務
が繋がったり影響し
たりするんだね

話し合いを重ねることにより、気付きや目指す方向の共有が図れた！

できることから始めてみよう！
それぞれができることって何？

大変そうだけど
ワクワクする～
一人じゃないから
大丈夫！

1回目支援 支援後の取組み

…ということで

- 高齢者支援センター連絡会議で情報・意識の共有
自立支援と総合事業（ADの支援あり）
窓口でのルールづくり
専門職同行訪問
- 市民の社会参加についての情報収集
通いの場（社会参加）と介護予防について他課へ説明
範囲を広げての情報収集
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査との検証

2回目支援 午前

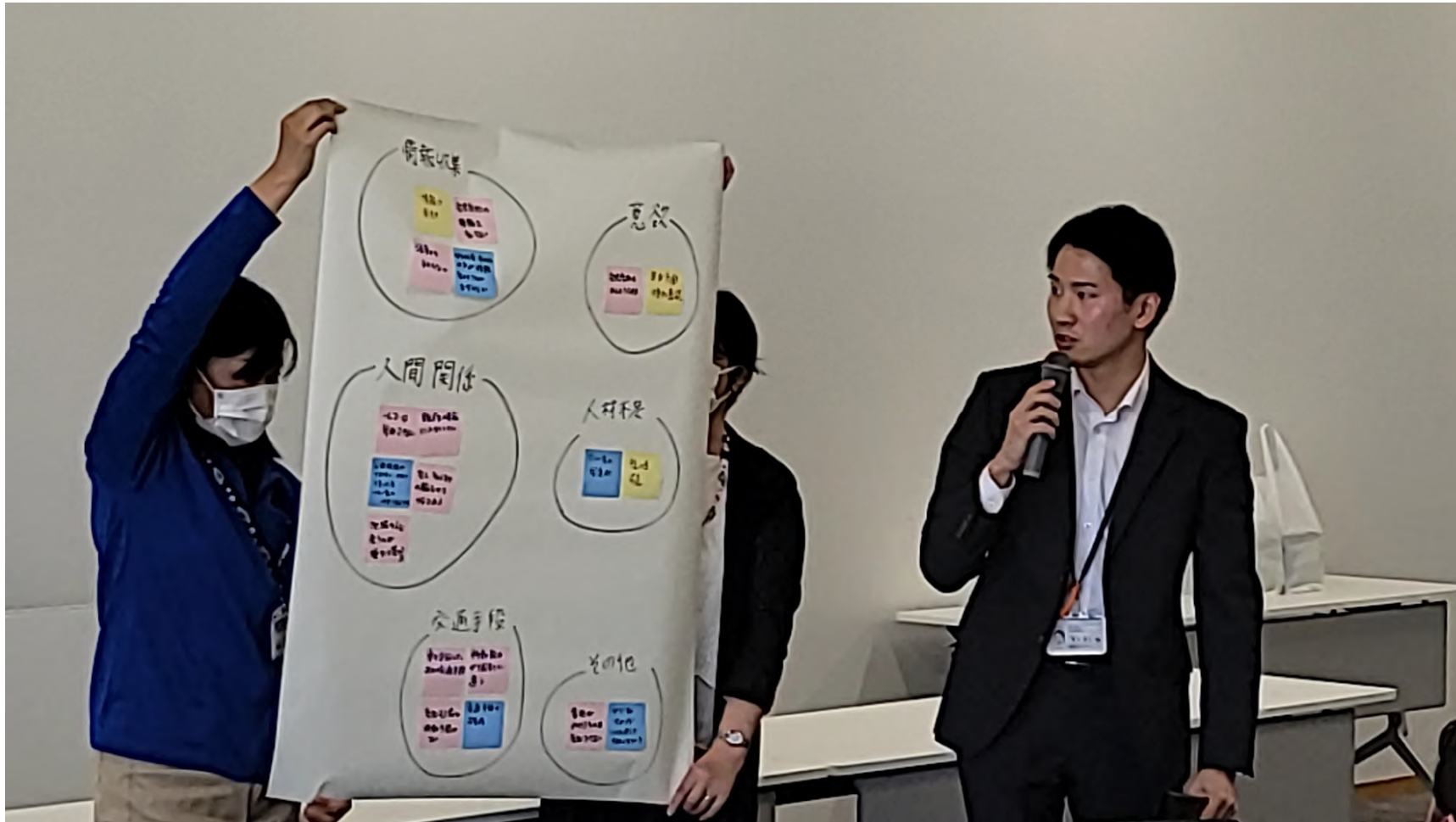
- 社会参加（通いの場）の情報集約報告，ニーズ調査の結果検証（報告：高齢福祉課）
- ニーズ調査の結果における活用等の助言（AD）
- 他課の取組の現状・課題（説明：参加の関係課）
- グループワーク 模擬協議体体験（全員）

【参加メンバー】 コアメンバー
高齢福祉課長補佐，交通政策課，市民生活課，
スポーツ課，地域保健課，生涯学習課，社会福祉
協議会

2回目支援 午前



2回目支援 午前



2回目支援 午後

- 社会参加の捉え方（講話：AD）
- 模擬会議 自立支援型地域ケア会議
地域ケア会議の説明
ケース検討
（全員参加，ファシリテーター：AD）
- 振り返り（支援チーム，コアメンバー）

【参加メンバー】コアメンバー

社会福祉協議会（2層SC），薬剤師，歯科衛生士，
管理栄養士，介護予防支援事業所CM，高齢者支援
センター



総勢
48名！

2回目支援 午後



2回目支援 午後



2回目支援 気づきと支援後の取組み

• 当初の課題を深掘りしたり，整理したりすることで，新しい課題が見えてきた

→ 新しい課題に対する取組みを考える

本当の課題
はこれだったのかも

• 事業に参加してからの取組みや支援を振り返り，今後の見通しが立ってきた

→ 共有できるマップを作る

まだまだ話し合いは
必要になるね～

ゴールに向かって，
それぞれができること，
することを可視化して共有

2回目支援 支援後の取組み

- ロードマップの作成
短期集中サービスを軸に

作成したロードマップをもとに。

- サービス内容の見直し
- 対象者が見つかる仕組みづくり
(相談・申請時のフローなど)
- 関係機関との連携，ワーキンググループ

ちょいちょい話すことで、目標を見失わずにいられる

同じ方向に進んでいく意識が感じられて心強い！

3回目支援（予定）

- 総合事業について（AD講義）
入口（相談窓口）から出口（卒業）まで
セルフマネジメント，リエイブルメント
- 自立支援型地域ケア会議模擬会議
（AD助言）

★ロードマップを進めていく上での不安材料を払拭したい！
★残り1回の支援を有意義に使いたい！

【参加メンバー】 コアメンバー
高齢者支援センター（地域包括支援センター）
介護保険課，リハビリテーション専門職協会など

支援を受けての感想

思い切ってエントリーして本当に良かった！

- 総合事業についての理解が曖昧だったことに気付いた
- 担当する事業だけでなく、ほかの事業とのつながりを意識することができた
- 小さなつながりが次のつながりに広がることを実感できた
- いろいろな人を巻き込んでいくのが楽しくなってきた
- ひとりでモヤモヤすることが少なくなった

ご清聴ありがとうございました

日本三名園 偕楽園



みとちゃん

